

シンポジウム「裁判員制度は何を変えるのか」

日時：2026年5月10日（日）13時から16時30分まで

場所：専修大学神田キャンパス 10号館（140年記念館）6階 10062教室（東京都千代田区神田神保町3-8）

主催：裁判員経験者ネットワーク、裁判員ネット、裁判員ラウンジ、専修大学法社会学ゼミナール

後援：法と教育学会、専修大学法学研究所、社会福祉法人 大阪ボランティア協会 “裁判員 ACT”

裁判への市民参加を進める会、裁判員交流会 インカフェ九州+、陪審裁判を考える会、Lay Judge Community Club～裁判員経験者によるコミュニティ～

参加費無料、オンライン配信あり（<https://x.gd/B8Lax> より参加をお申し込み下さい。 →）



二次元コード

<https://x.gd/B8Lax>

企画趣旨

新刊書『裁判員制度は何を変えるのか—市民が支える司法と社会へ』（牧野茂・大城聡・飯考行編著、旬報社）出版記念を兼ねて、18歳裁判員時代の法教育、誤判防止と再審、裁判員制度20年に向けての課題のテーマで、意見交換を行います。ご参加をお待ちしております（問い合わせ：iit@isc.senshu-u.ac.jp（専修大学・飯考行まで））。



*『裁判員制度は何を変えるのか—市民が支える司法と社会へ』（2026年5月刊行）目次 はじめに（牧野茂（弁護士・裁判員経験者ネットワーク））、【第1章】対談 若者たちは裁判員制度をどう見るか（川田泰之（早稲田大学高等学院教諭）×カオル（裁判員経験者）×牧野茂（司会））、【第2章】インタビュー「無罪か死刑か」極限の裁判員体験から—裁判員制度と「冤罪」を考える（N（裁判員経験者））、【第3章】第二東京弁護士会の法教育委員会の刑事模擬裁判の取り組み（瀬野泰崇（弁護士））、【第4章】法曹がみる裁判員制度（石塚章夫（元裁判官・弁護士）、森野俊彦（元裁判官・弁護士）、五十嵐二葉（弁護士））、【第5章】座談会 裁判員の「守秘義務」をめぐって（半田靖史（元裁判官・弁護士・学習院大学法務研究科教授）×大城聡（弁護士・裁判員ネット）×飯考行（専修大学教授）×S（裁判員経験者）×牧野茂（司会））、【第6章】裁判員制度と司法の未来（太田勝造（明治大学教授・弁護士）、丸田隆（関西学院大学名誉教授・弁護士）、鴨志田祐美（弁護士）、おわりに（飯考行）

進行

1. 18歳裁判員時代の法教育

Aさん（裁判員経験者、大学生）

川田泰之さん（早稲田大学高等学院教諭）

高校生（早稲田大学高等学院生）

河野敏也さん（桃山学院大学准教授）（オンライン参加）

コーディネーター：飯考行さん（専修大学教授・裁判員ラウンジ）



川田泰之さん



河野敏也さん



飯考行さん

2. 誤判防止と再審

Nさん（裁判員経験者）（オンライン参加）

鴨志田祐美さん（弁護士）

コーディネーター：牧野茂さん（弁護士・裁判員経験者ネットワーク）



鴨志田祐美さん



牧野茂さん

3. 裁判員制度20年に向けての課題

太田勝造さん（明治大学教授・弁護士）

杉崎千春さん（専修大学助教）

牧野茂さん（弁護士・裁判員経験者ネットワーク）

コーディネーター：大城聡さん（弁護士・裁判員ネット）



太田勝造さん



杉崎千春さん



大城聡さん